

12	氏名	永井雅人、大久保孝義、村上義孝、高嶋直敬、門田 文、宮川尚子、斉藤祥乃、西 信雄、奥田奈賀子、清原裕、中川秀昭、中村好一、岡村智教、岡山 明、三浦克之、上島弘嗣、NIPPON DATA80/90研究グループ
	タイトル	高血圧に対する肥満の寄与の年次推移
	学会名	第23回 日本疫学会 2013.1.24-26、大阪
13	氏名	Nagai M, Fujiyoshi A, Ohkubo T, Miura K, Okuda N, Hayakawa T, Yoshita K, Arai Y, Nakagawa H, Nakamura K, Miyagawa N, Takashima N, Kadota A, Murakami Y, Okamura T, Okayama A, Ueshima H: NIPPON DATA80 Research Group
	タイトル	Impact of total energy intake on stroke mortality is greater than that of coronary heart disease: a 24-year follow-up of representative Japanese (NIPPON DATA80), 1980-2004
	学会名	2013 International stroke conference 2013年2月6～8日 Honolulu
14	氏名	三浦克之、大久保孝義、岡村智教、岡山明、上島弘嗣、NIPPON DATA80/90/2010 Research Group
	タイトル	New Findings from the Cohort Studies of the National Surveys of Circulatory Disorders of Japan: NIPPON DATA80/90/2010
	学会名	第77回日本循環器学会学術集会 "Late Breaking Cohort Studies" 2013年3月16日 横浜

#### 報道発表

1	早川岳人
	豊かな老後にも重要 メタボ予防
	旬刊健康管理情報 健康のひろば. 平成24年6月21日
2	門田 文
	脂質管理カテゴリーⅢの男性、頸動脈硬化症の存在を念頭に包括管理を
	第44回日本動脈硬化学会. 日経メディカルオンライン. 平成24年7月22日
3	NIPPON DATAチャート掲載
	動脈硬化 しっかり見張る. 基準値見直し、心筋梗塞・狭心症を予防
	朝日新聞. 平成24年9月18日
4	宮川尚子
	高血圧の原因は? 「野菜・果物の不足」「お酒の飲み過ぎ」「運動不足」の認知度が低く
	第35回日本高血圧学会. 日経メディカルオンライン. 平成24年9月22日
5	宮川尚子
	知ってますか? 高血圧の原因
	旬刊健康管理情報 健康のひろば. 平成24年12月1日

## IV. 資 料

- 資料 1 発症調査票の記入について（依頼）
- 資料 2 日本医師会からの後援文書
- 資料 3 平成 24 年度健康状態アンケート調査
- 資料 4 平成 22 年国民健康・栄養調査使用申請書
- 資料 5 平成 22 年国民健康・栄養調査に係る調査票情報の提供について（通知）
- 資料 6 K6 得点別の平成 22 年国民健康・栄養調査集計結果
- 資料 7 心電図最終判定用エクセルファイル
- 資料 8 日常生活動作能力と生活の質の調査資料
- 資料 9 「豊かな老後にも重要 メタボ予防」  
旬刊健康管理情報 健康のひろば. 平成 24 年 6 月 21 日
- 資料 10 「脂質管理カテゴリーⅢの男性、頸動脈硬化症の存在を念頭に包括管理を」  
第 44 回日本動脈硬化学会. 日経メディカルオンライン. 平成 24 年 7 月 22 日
- 資料 11 「動脈硬化 しっかり見張る. 基準値見直し、心筋梗塞・狭心症を予防」  
朝日新聞. 平成 24 年 9 月 18 日
- 資料 12 「高血圧の原因は？『野菜・果物の不足』『お酒の飲み過ぎ』『運動不足』の認知度が低く」  
第 35 回日本高血圧学会. 日経メディカルオンライン. 平成 24 年 9 月 22 日
- 資料 13 「知っていますか？ 高血圧の原因」  
旬刊健康管理情報 健康のひろば. 平成 24 年 12 月 1 日

## 資料 1

平成 25 年 1 月 8 日

〇〇クリニック

院長 〇〇 〇 先生 御侍史

国立大学法人 滋賀医科大学 社会医学講座公衆衛生学部門

教授 三浦 克之

厚生労働科学研究費補助金（指定型）

循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合事業

「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA 2010)と

NIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究」

(H22-循環器等(生習)-指定-017)」研究代表者

### 発症調査票の記入について（依頼）

謹啓

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。突然のお手紙をお許してください。私たちは、全国の保健所の御協力のもと、厚生労働省が平成22年に実施した国民健康・栄養調査受検者約2900人を対象とした大規模追跡・疫学研究を、厚生労働省の標記研究班として平成22年(2010年)より実施しております。別紙の通り日本医師会からも御後援を頂いております。この調査・研究はこれまで厚生労働省が実施してきた循環器疾患基礎調査の後継調査となるもので、本学術研究の目的は、本邦国民における循環器病などの生活習慣病に影響する各種因子を解明するという公益性のきわめて高いものであります。この調査・研究の概要については同封の調査説明パンフレットをご参照ください。

今年度、対象者より追跡対象疾患（糖尿病）のため、貴院に受診された旨の自己申告がありました（写しを同封しております）。対象者氏名、生年月日は同封の調査票に記入しております。

つきましては、確定診断のため、大変お手数をおかけいたしますが、対象者の疾患発症状況、検査結果等につきまして、同封の「発症調査票」にご記入の上、2週間以内を目途に、同封の返信用封筒にてご返送いただきますようお願い申し上げます。また、「発症調査票」にご記入頂くに当たり、文書作成料 3,000 円をお支払いさせていただきますので、同封の「文書作成料(発症調査票記入)のお支払いについて」をご覧ください。なお、対象者からは医療機関に病状照会を行うことについて書面で同意を頂いています。同意書（見本を同封しております）の写しが必要な場合は送付しますので、事務局までご連絡ください。また、後日、お問い合わせをさせて頂く場合もございしますが、どうかご了承くださいますようお願い申し上げます。

誠に恐縮ではございますが、本研究の趣旨をご理解いただき、何卒御高配賜りますようお願い申し上げます。

日本動脈硬化学会より発行されました動脈硬化疾患リスク評価チャートCD-ROMを同封いたしました。日常診療にお使いいただければ幸甚です。

謹白

NIPPON DATA事務局（担当：吉田・斎藤・門田）

〒520-2192 大津市瀬田月輪町

滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学

TEL077-548-2191 FAX 077-543-9732

# 脳卒中 発症調査票

循環器病の予防に関する調査 ニッポンデータ2010

施設名	貴施設における ID	本調査票記入者ご芳名 連絡先 E-mail アドレス	本調査票記入日
住所			平成 年 月 日
TEL		@	
患者氏名		生年月日	性別
		大(昭)平 11 年 11 月 26 日	(男)・女

平成 22 年 11 月から現在について該当する項目全てにチェックを入れて下さい

## 1. 脳卒中の病型

- 脳梗塞 → 病型: ラクナ梗塞 アテローム血栓性 心原性脳塞栓 病型不明
- 脳出血
- くも膜下出血
- 病型不明
- その他 (.....) \* 具体的な臨床症状、病名などご記載ください

2. 上記疾患の発症年月日: 平成 年 月 日 ※不明の場合は、貴院初診日をご記入ください

## 3. 症状について

- 意識障害
- 突然の顔面・上肢・下肢の麻痺、感覚障害
- 構音障害
- めまい・ふらつき・平衡感覚障害
- 皮質機能障害(失語・失認・失行・半盲等)(.....) \* 具体的な障害をご記載ください
- その他 (.....) \* 具体的な臨床症状などご記載ください

## 4. 画像診断について

- 画像検査の有無:  なし  あり → CT MRI その他(.....)
- 病巣等:
  - 脳梗塞:
    - 皮質・皮質下 基底核(尾状核・内包・被核等) 視床 小脳 脳幹 多発性 不明
    - その他(.....)
- 脳塞栓:
  - 塞栓源の有無: なし あり → (.....) \* 具体的な事象をご記載ください

ご協力いただきありがとうございました

事務局使用欄

ID	発送日	受領日
12000265	2012/11/1	

# 糖尿病 発症調査票

循環器病の予防に関する調査 ニッポンデータ2010

施設名	貴施設における ID	本調査票記入者ご芳名 連絡先 E-mail アドレス	本調査票記入日
住所			平成 年 月 日
TEL		@	
患者氏名		生年月日	性別
		大(昭)平成 22 年 9 月 17 日	男・(女)

## 該当する項目全てにチェックを入れてください

- 糖尿病の病型:  I型     II型     病型不明     糖尿病ではない(耐糖能障害)  
 その他 (.....) \*具体的な臨床症状、病名などご記載ください
  - 上記疾患の診断年月日もしくは初診年月日: 平成 年 月 日
  - 診断に至った検査:
    - 空腹時血糖値(126mg/dl 以上)
    - 随時血糖値(200mg/dl 以上)
    - HbA1c (JDS 値 6.1% / NGSP 値 6.5%以上)
    - 経口糖負荷検査(75gOGTT)(2 時間値 200mg/dl 以上)
    - 確実な糖尿病性網膜症の存在
    - 典型的症状(口渴、多飲、多尿、体重減少)の存在
  - 現在の治療について
    - 食事・運動療法:  なし     あり
    - 経口糖尿病治療薬:  なし     あり → (.....)\*具体的な薬剤名をご記載ください  
(.....)
    - インスリン治療:  なし     あり
    - GLP アナログ治療:  なし     あり
    - その他 → (.....) \*具体的な事象などご記載ください
- ご協力いただきありがとうございます

事務局使用欄

ID	発送日	受領日
12005239	2012/11/1	

# 心疾患 発症調査票

循環器病の予防に関する調査 ニッポンデータ2010

施設名	貴施設における ID	本調査票記入者ご芳名 連絡先 E-mail アドレス	本調査票記入日
住所			平成 年 月 日
TEL		@	
患者氏名		生年月日	性別
		大(昭)平成 30 年 6 月 18 日	(男)・女

平成 22 年 11 月から現在について該当する項目全てにチェックを入れて下さい

## 1. 心疾患の病型

- 心筋梗塞(内膜下梗塞を含む) → 梗塞部位: 前壁・中隔 側壁 下壁・後壁
- 狭心症 → 病型: 労作性狭心症 冠れん縮性狭心症 その他( )
- 心不全
- 不整脈 ( ) \* 具体的な病名などご記載ください
- その他 ( ) \* 具体的な臨床症状、病名などご記載ください

2. 上記疾患の発症年月日: 平成 年 月 日 ※不明の場合は、貴院初診日をご記入ください

## 3. 心筋梗塞の場合は下記にご記入ください

### ● 胸部症状

- 典型的胸痛(20分以上続く胸痛)
- 非典型的胸痛(上記以外の胸痛)
- 急性左心不全、ショック、失神
- その他 ( ) \* 具体的な臨床症状などご記載ください

● 心電図変化の有無:  なし  あり →  異常 Q 波の出現  ST 上昇  T 波異常  
誘導部位: \_\_\_\_\_

### ● 心筋逸脱酵素(CPK, GOT, LDH, トロポニン T 等)の上昇:

- 有(正常範囲の2倍以上)  有(正常範囲の2倍未満)  なし  不明



4. 下記の治療をされた場合は下記にご記入ください

- 経皮的冠動脈インターベンション(PCI)の有無:  なし  あり → 施行年月日: 平成 年 月 日
- 経皮的冠動脈血栓溶解療法の有無:  なし  あり → 施行年月日: 平成 年 月 日
- 冠動脈バイパス術(CABG)の有無:  なし  あり → 施行年月日: 平成 年 月 日

5. 心不全の場合は下記にご記入ください

- NYHA 分類:  I  II  III  IV

- 心不全の診断根拠

- 臨床症状(呼吸困難、労作時息切れ、起座呼吸、喘鳴など)
- 身体所見(肺ラ音、頸静脈怒張、下腿浮腫など)
- 胸部 XP 所見(心拡大、肺うっ血、胸水貯留など)
- BNP 高値 → ( ) 値を記載ください
- 心エコーによる心不全徴候の確認
- その他 ( ) \* 具体的な臨床症状などご記載ください

I	心疾患があるが身体活動には特に制約がなく日常労作により、特に不当な呼吸困難、狭心痛、疲労、動悸などの愁訴が生じないもの
II	心疾患があり、身体活動が軽度に制約されるもの;安静時または軽労作時には障害がないか、日常労作のうち、比較的強い労作(階段上昇、坂道歩行など)によって上記の愁訴が発現するもの
III	心疾患があり、身体活動が著しく制約されるもの;安静時には愁訴がないが、比較的軽い日常労作でも愁訴が発現するもの
IV	心疾患があり、いかなる程度の身体労作の際にも上記愁訴が出現し、また、心不全症状、または狭心症候群が安静時においてもみられ、労作によりそれらが増強するもの

- 心不全の原疾患:

- 虚血性心疾患  弁膜症  心筋症  不整脈  高血圧  その他( )  不明

ご協力いただきありがとうございました

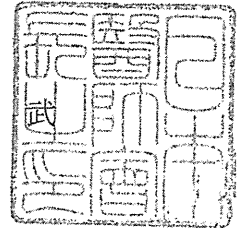
事務局使用欄

ID 12002689	発送日 2012/11/1	受領日
----------------	------------------	-----

平成24年11月20日

日本医師会 会員各位

日本医師会  
会長 横倉 義



謹啓

会員各位におかれましては、ご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、日本医師会では、厚生労働省科学研究補助金（循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業）「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始（NIPPON DATA2010）とNIPPONDATA80/90の追跡継続に関する研究」班（主任研究者：滋賀医科大学 三浦克之教授）から、心疾患・脳卒中・糖尿病発症調査を含む研究実施（別紙1）についての後援依頼を受け、平成24年11月7日付で本研究を後援することにいたしました。

つきましては、対象となりました医療機関におかれましては、本研究にご理解の上、ご協力いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

謹白

平成 24 年 10 月 31 日

〇〇〇〇 様

厚生労働省指定研究 ニッポンデータ研究班  
研究代表者 三浦 克之

「循環器病の予防に関する調査(ニッポンデータ 2010)」参加者の皆様へ

平成 24 年度 健康状態アンケート調査のお願い

拝啓 仲秋の候、皆様におかれましてはお元気にお過ごしでしょうか。昨年 11 月に実施しました「循環器病の予防に関する調査(ニッポンデータ 2010) 健康状態調査」にご協力いただき誠にありがとうございました。今年度の健康関連資料(ニッポンデータ通信 第3号)などを同封させていただきます。皆様の日々の健康管理にお役立ていただければ幸いです。

さて、今年度の「健康状態についてのおたずね」を同封させていただきます。つきましては、この一年間の皆様の健康状態について、別紙アンケート用紙にご記入いただき、2週間以内に同封の返信用封筒にてご返送いただきますようお願いいたします。ご回答内容は守秘いたします。また、ご回答内容について後日、ご本人様もしくは医療機関等にお問い合わせをする場合もございますことをご了承ください。

昨年度はほぼすべての皆様にご協力いただきました(回収率98%)。重ねて厚く御礼申し上げますとともに、今年度の健康状態アンケート調査へのご協力をお願いいたします。

何かご不明な点等がございましたら、事務局までご連絡下さい。お手数をおかけしますが、どうぞ宜しくお願い申し上げます。

敬具

お問い合わせ： ニッポンデータ2010 中央事務局 担当 吉田・斎藤  
〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門  
TEL 077-548-2191 (10時~17時)

# 循環器病の予防に関する調査 ニッポンデータ2010 健康状態についてのおたずね

以下の質問について、あてはまる□にするし(✓)をつけて下さい。

【1】平成23年11月からいままでの間に、<sup>こうけつあつ</sup>高血圧(血圧が高い)で、医師からのお薬による治療を受けられましたか。

1.  いいえ
2.  はい ⇒ ※お薬による治療を受けている方は、できましたら薬名の記載された説明書や薬の袋等を同封下さい。

【2】平成23年11月からいままでの間に、<sup>こうしけつしょう</sup>高脂血症・<sup>しじつじょうしょう</sup>脂質異常症(血中のコレステロールや中性脂肪が高い)で、医師からのお薬による治療を受けられましたか。

1.  いいえ
2.  はい ⇒ ※お薬による治療を受けている方は、できましたら薬名の記載された説明書や薬の袋等を同封下さい。

【3】平成23年11月からいままでの間に、<sup>とうようびょう</sup>糖尿病(血糖値が高い)と 医師から言われましたか。

1.  いいえ ⇒ 次ページ【4】におすすみ下さい。
2.  はい

└─▶ 「はい」の場合

① 時期 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_

② どちらの医療機関を受診されましたか。

所在地(市区町村名)

医療機関名

(後日、医療機関に病名確認のお問い合わせをさせていただきます)

③ 医師からお薬による治療を受けられましたか。

1.  いいえ
2.  はい

【4】平成23年11月からいままでの間に、<sup>しんぞうびょう</sup> 心臓病 (<sup>しんきんこうそく</sup> 心筋梗塞、<sup>きょうしんしょう</sup> 狭心症、  
心臓のまわりの血管が狭くなっている、<sup>しんふぜん</sup> 心不全、<sup>ふせいみやく</sup> 不整脈など) であると医師から  
言われましたか。

1.  いいえ ⇒ 【5】におすすみ下さい。

2.  はい

↳ 「はい」の場合

① 時期 平成 年 月

② どちらの医療機関を受診されましたか。

所在地 (市区町村名) 医療機関名

所在地 (市区町村名) 医療機関名

(後日、医療機関に病名確認のお問い合わせをさせていただきます)

③ 以下のどの病気でしょうか。

<sup>しんきんこうそく</sup> 心筋梗塞 (心臓のまわりの血管がつまり、<sup>きょうつう</sup> 強い胸痛が起きる病気)

<sup>きょうしんしょう</sup> 狭心症 (心臓のまわりの血管が狭くなり、運動時などに<sup>きょうつう</sup> 胸痛が  
起きる病気)

<sup>しんふぜん</sup> 心不全 (心臓の働きが弱くなり、<sup>むく</sup> 息切れや浮腫み等が起きる病気)

<sup>ふせいみやく</sup> 不整脈 (脈の異常)

その他 (ご記入下さい)

わからない

④ 心臓のまわりの血管を広げる治療 (<sup>かんだうみやくかくちょうじゆつ</sup> 冠動脈拡張術や  
<sup>りゅうちじゆつ</sup> スtent留置術) を受けられましたか。

1.  いいえ

2.  はい

【5】平成23年11月からいままでの間に、<sup>のうそちゆう</sup>脳卒中（<sup>のうこうそく</sup>脳梗塞、<sup>のうけっせん</sup>脳血栓、<sup>のうそくせん</sup>脳塞栓、<sup>のうしゅっけつ</sup>脳出血、<sup>まくかしゅっけつ</sup>くも膜下出血など）であると医師から言われましたか。（脳卒中では、脳の動脈がつまったり、脳の動脈から出血することによって、突然の顔・手足のマヒ・しびれ、言葉のもつれ、突然の激しい頭痛、めまい・ふらつき等の症状を起こします）

1.  いいえ ⇒ 次ページ【6】におすすみ下さい。

2.  はい

↳ 「はい」の場合

① 時期 平成 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_

② どちらの医療機関を受診されましたか。

所在地（市区町村名） \_\_\_\_\_ 医療機関名 \_\_\_\_\_

所在地（市区町村名） \_\_\_\_\_ 医療機関名 \_\_\_\_\_

（後日、医療機関に病名確認のお問い合わせをさせていただきます）

③ 以下のどの病気でしょうか。

<sup>のうこうそく</sup>脳梗塞（<sup>のうけっせん</sup>脳血栓・<sup>のうそくせん</sup>脳塞栓を含む）

<sup>のうしゅっけつ</sup>脳出血

<sup>まくかしゅっけつ</sup>くも膜下出血

<sup>いっかせいのうきよけつほっさ</sup>一過性脳虚血発作

その他（ご記入下さい \_\_\_\_\_）

わからない

【6】その他、平成23年11月からいままでの間に、治療された病気などがありましたら、ご記入下さい。

(例 肺炎、心臓の検査で入院した等)

【7】以下に、本アンケートを記入された方のご署名をお願いいたします。

氏 名 \_\_\_\_\_

御 関 係 本人・家族・知人・その他 ( )  
(↑該当するものに○をつけてください。)

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

(本アンケートの内容確認等のため、連絡させていただく場合がございますのでご記入をお願いします)

◎ご住所等を変更された場合は、以下にご記入下さい。

新 住 所 \_\_\_\_\_

電 話 番 号 \_\_\_\_\_

【8】以下、事務局へのご連絡にご利用下さい。

ご協力、誠にありがとうございました。

事務局使用欄

12023400

発送日

12/12/2012

受領日



# ニッポンデータ通信

## お知らせ

第二回追跡調査「健康状態  
についてのおたすね」を同  
封しております。お手数で  
すが、この調査票にご記入  
の上、**返信用封筒にてご返  
送お願いします。**ご不明な  
点がございましたら、事務  
局までご連絡ください。

## ニッポンデータ通信第3号の内容

研究代表者ごあいさつ	1
1. ニッポンデータ 2010 近況報告	1
2. 研究成果の紹介 ・意外と知らない循 環器疾患の原因 ・あなたの将来の冠 動脈疾患死亡リス クは?	2
3. 脳卒中発症時の症状 と対応を知っているこ とが大切です	3
参加者の声	4
編集後記	4

循環器病の予防に関する調査  
【ニッポンデータ2010】にご協力ください



循環器病の予防に関する調査って?  
循環器病とは、脳卒中や心臓病といった心臓や血管に病変を来し、  
死に、食生活などの生活習慣がその病状に関与することがわかっています。  
予防の調査・研究は循環器病の予防を助けてくれます。  
その調査結果は国民健康栄養調査として公開されます。  
調査は匿名で実施し、調査結果は個人では公表されません。  
調査結果は国民健康栄養調査として公開されます。

一昨年秋(2010年11月)  
実施時のチラシ

## 研究代表者ごあいさつ

今年の夏も連日、暑い日が続きましたが、体調などを崩されることなくお過ごしでしょうか。右の写真のように事務局一同も元気で頑張っております。

さて、多くの方々にご協力頂いた昨年の第一回追跡調査からはや一年が経ちました。お陰様で本研究から国民の健康をよりよくしていくために有用な成果が多数うまれてきています。

今回同封しております第二回追跡調査につきましても是非ご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

研究代表者 三浦克之



ニッポンデータ2010事務局  
(左から前列: 斉藤、永井、吉田、  
後列: 高嶋、大久保、三浦、門田、三原)

## 1. ニッポンデータ2010 近況報告

全地域の第一回追跡調査「健康状態についてのおたすね」が終了しました。  
ご協力いただき、誠にありがとうございました。

昨年、実施を見送らせていただいておりますが、東日本大震災の被災地の方々にも、第一回の追跡調査「健康状態についてのおたすね」をお送りさせていただきました。未だ復興の最中におられる中、多くの方々にご協力頂きましたこと、感謝しております。誠にありがとうございました。

おかげさまで、第一回の追跡調査は全地域で98.1%の回収率となりました。同封しております第二回の追跡調査への御協力も重ねてお願いいたします。

「ニッポンデータ2010」について学会で報告します。

事務局では、今年10月下旬に山口で開催される日本公衆衛生学会で「ニッポンデータ2010」の結果から、動脈硬化の危険因子や糖尿病、脳卒中の症状など、循環器疾患に関する知識の普及状況を報告させていただきます(内容の一部を次頁に掲載しております)。社会全体の循環器病の予防対策を考える上で、大変重要な知見となります。今後もこの研究から得られた知見を皆様や社会に発信してまいります。

また、1月12日(土)の13時30分から京都市にて、市民公開講座を開催する予定です。お近くにお住まいの方は、是非ご参加ください。開催場所など市民公開講座についての詳細は下記アドレスのホームページ上でご案内いたします。  
ニッポンデータ2010ホームページ  
<http://hs-web.shiga-med.ac.jp/study/NIPPONDATA2010/>





## 2. 研究成果の紹介

### 意外と知らない循環器疾患の原因

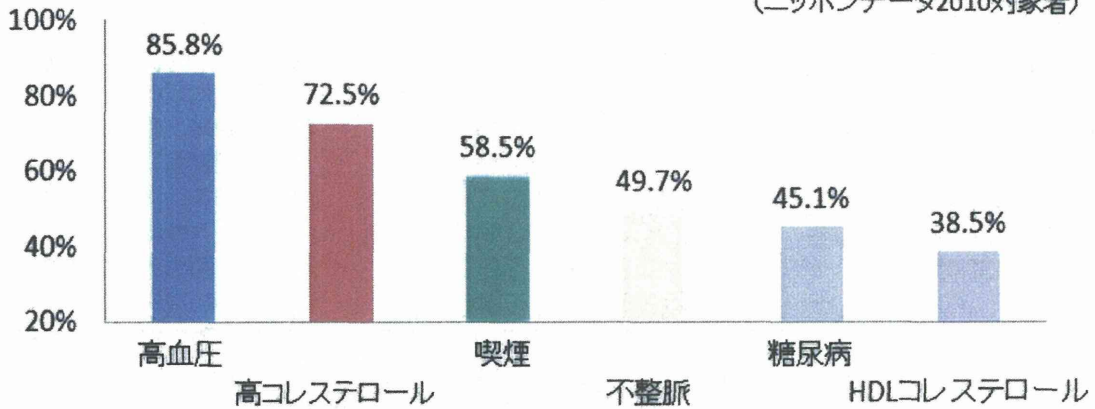
循環器疾患（脳卒中、心筋梗塞など）の原因を正しく認識することは、循環器疾患の予防に大変重要です。そこで、循環器疾患の危険因子をどの程度知っているかを調査しました。

その結果、高血圧が循環器疾患の危険因子であると回答した割合は86%で、最も高い正答率でした。一方、糖尿病は45%、HDLコレステロール低値は39%と、5割に満たないことが示されました。

循環器疾患を予防するためには、危険因子を正しく認識し、各要因をそれぞれ予防・改善していくことが大切です。

### 循環器疾患の原因であると回答した正答率

(ニッポンデータ2010対象者)



※これらはすべて循環器疾患の原因です

### あなたの将来の冠動脈疾患死亡リスクは？

将来の循環器疾患のリスクを予測するには、個々の危険因子の程度を包括的に評価する必要があります。

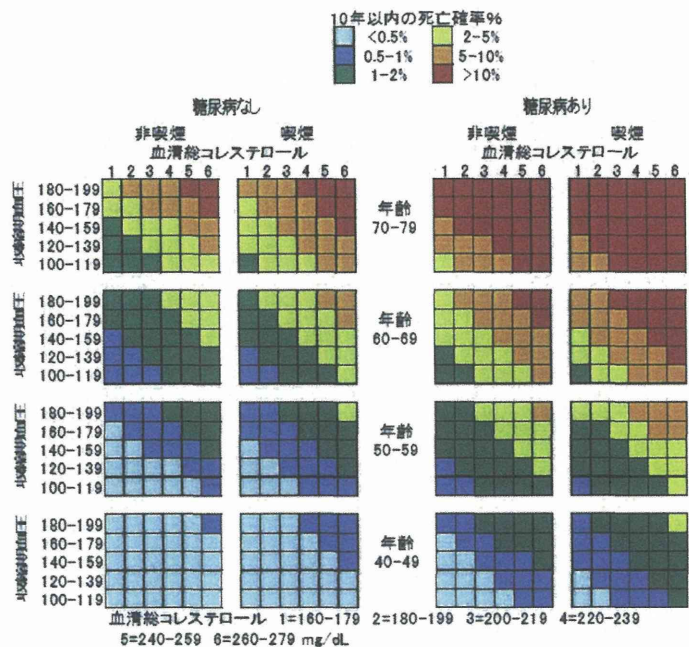
性別・年齢・血圧・喫煙・血清総コレステロール・糖尿病の6つの要因から将来の循環器疾患死亡リスクを予測する「ニッポンデータ死亡リスク評価チャート」を作成しました。

右の表でみると、例えば、60歳代男性・非喫煙・収縮期血圧：140～159mmHg・血清総コレステロール220～239mg/dL・糖尿病ありの方の10年以内の冠動脈疾患死亡確率は5～10%（オレンジ色）と推定されます。

日本動脈硬化学会の「動脈硬化症疾患予防ガイドライン（2012年版）」では、このリスク評価チャートが採用され、10年間の冠動脈疾患死亡リスクに応じてLDLコレステロールの管理目標値が設定されることになりました。

### ニッポンデータ死亡リスク評価チャート：冠動脈疾患、男性

(ニッポンデータ80における分析)





### 3. 脳卒中発症時の症状と対応を知っていることが大切です

#### 脳卒中の5つの初発症状

- \*言語障害：突然、ロレツが回らなくなったり、言葉が出なくなったり、他人の言うことが理解できなくなる
- \*片麻痺：突然、片方の手足や顔半分の麻痺・しびれが起こる
- \*激しい頭痛：突然、経験したことのない激しい頭痛がする
- \*ふらつき：突然、力はあるのに立てなかったり、歩けなかったり、フラフラする
- \*視覚障害：突然、片方の目が見えなくなったり、物が二つに見えたり、視野の半分が欠ける

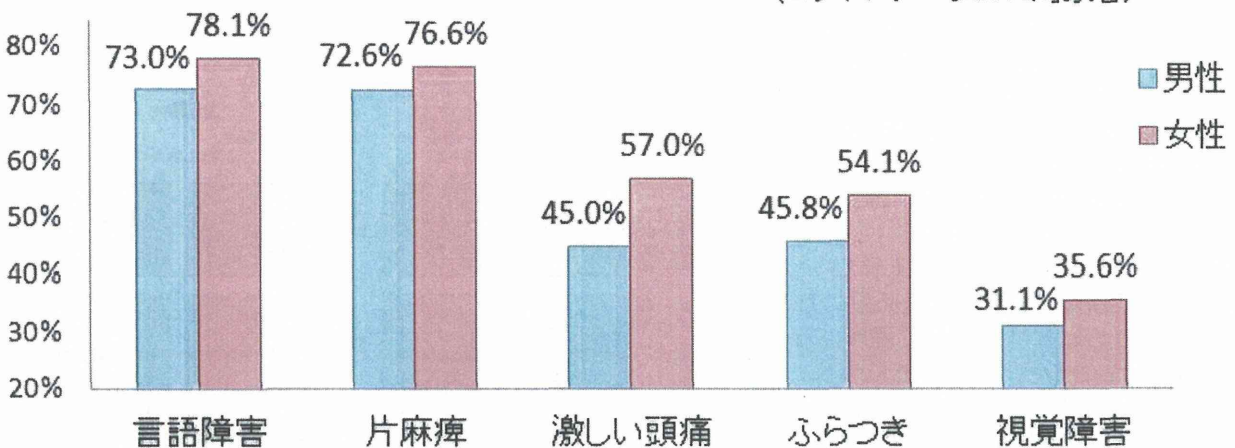
脳卒中は予防が第一ですが、万が一脳卒中を発症した場合でも最新の急性期治療法の進歩により、少しでも早く専門医療機関で治療を受ければ、救命や後遺症軽減が得られるようになってきています。そのため、万が一の発症に備えて、脳卒中の初発症状を理解していることが大切です。

そこで今回、どれくらいの方が脳卒中の初発症状を知っているのか調査しました。その結果、症状を正しく認識している人の割合（正答率）は『突然生じる言語障害』で最も高く76%、次いで『突然生じる片麻痺』で75%、『突然生じる激しい頭痛』で52%、『突然生じるふらつき』で51%、『突然生じる視覚障害』で34%でした。また、いずれの症状も女性に比べて男性の正答率が低くなっていました。

脳卒中の初発症状は十分に認識されているとは言えませんでした。脳卒中発症時の迅速な対応のために、代表的な5症状【言語障害、片麻痺、激しい頭痛、ふらつき、視覚障害】を知っていることが大切です。【突然】【片側に】生じることが特徴です。そして、自身や周囲の人がこのような症状を起こした場合は、すぐに救急車を呼んで専門医療機関へ搬送してもらうことが大切です。「しばらく様子を見よう」というのは禁物です。一刻も早く専門の医療機関を受診しましょう。

#### 脳卒中の初発症状であると回答した正答率

(ニッポンデータ2010対象者)



※これらはすべて脳卒中の初発症状です



## 参加者の声

これまでに参加者の皆様より頂いたメッセージの一部をご紹介します。

- 健康について、つい忘れがちになりますが、このようなアンケート等があると、注意するようになります（男性）。
- 健康第一ですね。お世話様でした（女性）。
- 重労働→事務職→無職と体を使う機会が減り、今年5月の健診では「軽い脂肪肝」となっていました。運動の大切さを身にしみております（女性）。



## 編集後記

秋を感じる季節となりました。皆様はいかがお過ごしでしょうか。食欲、スポーツ、芸術の秋。健やかに過ごせる事の有難さに感謝する毎日です。気温の変化が大きい季節ですので、くれぐれも体調にはご注意ください。

皆様方のご協力のおかげで続々と本研究から貴重な知見が得られております。今後も得られた成果を皆様にお伝えするとともに、社会へ還元していけるよう我々一同頑張っていきたいと思っております。今後ともご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。

ニッポンデータ通信 編集担当 門田 永井

## ニッポンデータ2010中央事務局

国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門（研究代表者 三浦克之）

〒520-2192 滋賀県大津市瀬田月輪町

電話番号 077-548-2191 ファックス 077-543-9732

（電話受付時間 平日午前10時から午後5時まで）

ホームページ <http://hs-web.shiga-med.ac.jp/>

<http://hs-web.shiga-med.ac.jp/study/NIPPONDATA2010/>

## 資料 4

(別紙)

### 1 統計調査の名称

平成 22 年国民健康・栄養調査

### 2 調査票情報の利用目的

平成24年度厚生労働省科学研究補助金(循環器疾患・糖尿病等生活習慣病対策総合研究事業)を受けて行う「2010年国民健康栄養調査対象者の追跡開始(NIPPON DATA2010)とNIPPON DATA80/90の追跡継続に関する研究(H22-循環器等(生習)-指定-017)」の一環として、NIPPON DATA2010調査データに平成22年国民健康・栄養調査データを突合させることで、国民代表集団における心の健康(K6<sup>※</sup>)と食生活やその他の循環器危険因子との関連について分析するとともに、上記調査のベースラインデータを構築することを目的とする。なお研究概要は別添1のとおりである。

※K6とは心の健康を測定する尺度で、6項目からなる調査票である。

### 3 調査票情報の利用者の範囲

国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座教授 三浦克之  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座准教授 大久保孝義  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座准教授 村上義孝  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座特任助教 高嶋直敬  
国立大学法人滋賀医科大学社会医学講座リサーチレジデント 永井雅人

### 4 利用する調査票情報の名称及び範囲

- |           |           |
|-----------|-----------|
| (1) 名称    | 国民健康・栄養調査 |
| (2) 年次等   | 平成 22 年   |
| (3) 地域    | 全国        |
| (3) 属性的範囲 |           |

### 5 利用する調査事項及び利用方法

#### <調査事項>

使用する調査事項に住所、氏名、生年月日など個人を同定可能な情報は含まない。地区番号、単位区番号、市郡番号、世帯番号、世帯員番号をキーとしてNIPPON DATA2010調査データと結合する。

- ・平成22年国民健康・栄養調査  
身体状況調査票、生活習慣調査票